

製品安全データシート (MSDS)

作成日：2003年4月20日

1. 製品及び会社情報

製品名 (用途)：サンケイ クマリン (農薬・殺鼠剤)

会社名：琉球産経株式会社

住所：〒901-0242

沖縄県豊見城市字高安586番地

担当部門：生産開発部 生産課

電話番号 098-850-7791 FAX 098-856-1856

緊急連絡先：同上

整理番号：R-305

2. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

農薬の種類：クマリン系粒剤

化学名〔一般名〕：3-(α -アセトニルベンジル)-4-ヒドロキシクマリン
〔ワルファリン〕成分及び含有量：ワルファリン・・・0.1%
穀粉等・・・99.9%化学式又は構造式：ワルファリン $C_{19}H_{16}O_4$

CAS No.：81-81-2

3. 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない

有害性：本剤を継続摂取した場合、種々の健康障害を招く危険性がある。

環境への影響：通常の使用方法では水産動物に対する影響は少ない。

物理的及び化学的危険性：非危険物

4. 応急の処置

眼に入った場合：直ちに多量の清浄水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
身体に異常を感じた場合は医師の手当を受ける。吸入した場合：すみやかに新鮮な空気のあるところに行き、深呼吸をする。
身体に異常を感じた場合は医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：コップ2杯の水を飲ませ吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当を受けさせる。但し患者に意識のない場合やけいれんを起こしている場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。
尚、ワルファリンの解毒剤としてビタミンK₁が有効である。

5. 火災時の措置

*火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火方法：消火作業の際は、状況に応じた保護具（安全帽、防災面、呼吸用保護具、保護手袋、保護長靴、保護服、ゴーグル等）を着用して、安全な距離を保ちながら風上から作業する。

煙を吸い込まないように注意する。

消火作業により物質が流出し、環境に影響を及ぼさないように注意する。

消火剤：水・砂・粉末・炭酸ガス・泡等の消火剤

6. 漏出時の措置

*漏出した場所の周辺にロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。

除去方法：注意して掃き集め、密封できる容器に回収する。

人体に対する注意事項：処理作業の際には保護具を着用し、本剤に直接触れないように注意し、風上から作業をする。

環境に対する注意事項：漏出した製品が河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散・流入し、環境に影響を及ぼさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：ラベルを良く読む。記載以外には使用しない。小児の手の届く所には保管しない。

*作業中は手袋等をして、直接毒餌が手（皮膚）にふれないように注意し、作業後は顔、手足等皮膚の露出部を石けんでよく洗う。

*家畜・家禽、ペット類に毒餌を食われるおそれがある場所での使用はさける。

*誤食等のないように注意する。

保管：*直射日光をさけ、食品、飼料等とは厳重に区別し、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

〔屋内の作業環境〕

管理濃度：製品としては設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会：製品としては設定されていない

設備対策：屋内で取扱うときはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク着用
 保護メガネ：安全メガネ着用
 保護手袋：保護用手袋着用
 保護衣：作業衣着用

9. 物理的及び化学的性質

外観等：桃色粒状 1粒 約0.4g

〔以下ワルファリンのデータ〕

臭気：無臭

融点：159～164℃

蒸気圧： 1.51×10^{-6} Pa

溶解度：水；17mg/L (20℃)

メタノール、エタノール、アセトン、ジオキサンに可溶

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の温度及び保管条件で安定。

11. 有害性情報

〔ワルファリン1%含有製剤のデータ〕

刺激性（眼・皮膚）：	眼	ウサギ	軽度の刺激性あり
	皮膚	ウサギ	軽度の刺激性あり
感作性	：	皮膚	モルモット 感作性なし
急性毒性	：	経口	ラット LD ₅₀ 2558mg / kg
		マウス	LD ₅₀ ♂♀ > 5000mg / kg
		経皮	ラット LD ₅₀ ♂♀ > 2000mg / kg

12. 環境影響情報

魚毒性：	コイ	LC ₅₀ （48時間）	80ppm（ワルファリン）
	ミジンコ	LC ₅₀ （3時間）	> 100ppm（ワルファリン）

13. 廃棄上の注意

使用残りの農薬を不注意に廃棄したり、不要になった農薬を放置したりすると思わぬ事故を引き起こすことがあるので、その処理に当たっては関係法令を遵守して適正な処理を行うこと。また、空袋は圃場等に放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行い、水漏れに注意し、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

農薬取締法（登録番号：第 12314 号）

毒物及び劇物取締法：普通物

労働安全衛生法：第 57 条の 2 通知対象物；該当なし

化学物質管理促進法（P R T R 法）：指定化学物質；該当なし

16. その他の情報

この製品安全データシートは、現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いを行う場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。